JTUC
日本労働組合総連合会
山梨県連合会（略称 連合山梨）
No,365 2021.11.12

れんごう YAMANASHI

安心社会へ 新たなチャレンジ ～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～

10/27 WED 連合山梨 第33回定期大会を開催

連合山梨は、10月27日(水)YCC県民文化ホールにおいて、第33 回定期大会を開催し、2022 ～ 2023年度の向こう２年間の運動方針と、新たな役員体制を承認・決定し新年度のスタートを切りました。

萩原会長による挨拶の後、連合本部 山根木副事務局長、渡邊山梨県副知事、生方山梨労働局長をはじめとするご来賓のみなさまから挨拶を頂戴し、選挙期間中のため出席が叶わなかった中島かつひと氏、いちき伴子氏のメッセージが読み上げられました。

議事では、2021年度活動報告・財政報告・会計監査報告が承認された後、第４号議案「新・連合山梨会館（仮称）の建設について」の提案が承認され、次に剰余金処分（案）が承認されました。

続いて、第1号議案「2022 ～ 2023年度運動方針補強(案)」、第2号議案「2022年度予算(案)」が一括して提案され、代議員からの意見要望に対する答弁が行われた後、満場一致で承認されました。そして、第３号議案「連合山梨規約の一部改定について」、第5号議案「役員の選出」、第6号議案「顧問の委嘱」、第７号議案「大会特別決議（案）」がそれぞれ承認された後、大会スローガンである『安心社会へ 新たなチャレンジ ～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ ～』の大会宣言を採択し、窪田 清新会長の音頭による団結ガンバローを三唱して、大会を締めくくりました。

萩原会長挨拶（要旨）

● 組織の強化・機能発揮

活動領域として、〝組織拡大〟〝春季生活闘争〟〝組織内への活動の見える化〟〝関係組織との連携〟〝社会全体に浸透し得る活動の推進〟など様々なものがある。

○**組織拡大**

山梨の特徴として、全産業の約99％が中小企業・地場産業であり、内小規模事業主が9割を占めている。そして、日本全国の労働組合組織率17％に対し山梨は11％と、中小地場産業中心の地域柄で組織率が低い傾向にある。

「アンテナを伸ばし、働く者の声なき声を察知して、〝地域社会を〟〝私たちの生活を〟向上させていく」ことが連合山梨の使命である。

組織拡大は組織強化のベースであり、働く仲間の声を聴くことである。

中小地場で働く皆さんとの連携を計り、連合山梨としての存在価値に繋げていく。

○**春季生活闘争**

コロナ禍にあって、明と暗がよりくっきり見えてきている。横断的なサポートをしっかりと行って、地域社会を活発なものにしていく。

○**全ての活動の視点**

活動をやり切った達成感ではなく、その事がどの様に人に伝わったかである。人に伝えるためにも、物事の本質を見極めた活動を進めていく。

● 政治に関係する活動

第49回衆議院選挙は、今日を含めて5日後には審判が下される。

山梨1区中島候補、2区いちき候補共に厳しい戦いを強いられているが、絶対に勝ち抜くという思いで、最後の最後まで共に戦い抜いて行こう。

向こう2年間は、参院選、知事選、統一地方選と続き、情勢によっては衆議院の解散もあるかも知れない。政決戦の年となる。

野党が連携して戦うことが必要であり、形だけの野党連携では直ぐにほころびが出る。連合の求める野党の結集を図って頂き、与党と対峙する一大勢力になるべく、本質を見極め、真に緊張感のある二大政党政治に向けた本気の話し合いに期待したい。

● 第4号議案

新連合山梨会館（仮称）の建設について、様々、逡巡もしたが将来にわたる活動の拠点として、会館建設に向けて具体的に踏み込むこととしたい。

とても大きな買い物であり、将来に向けたリスクもあるかも知れない。しかし、「リスクを冒さないことこそ、最大のリスク」だとCMの言葉に背中を押されて決断をした。新会館建設の暁には、長く親しまれる拠点であって欲しいので、皆さんに愛される“会館の愛称”を募集するなど、広くみんなに親しまれる会館にすべく論議をして欲しい。

今大会で私を含め、若月さん、早川さんの3名が退任となる。また、2021年度途中でも3名が退任されたが、それぞれの職場でそれぞれの立場で、引き続き連合山梨の活動をサポートして頂きたい。私自身も私の立場で後方支援、側面支援を行わせて頂き、引き続き皆さんと共に汗を流して行く。

私を除く５名の皆さまに、改めて、連合山梨の運動に携わって頂いたそのご功績に感謝を申し上げる。

この第33回定期大会が、「連合山梨の未来へ、確実な一歩を踏み出す！」

その様な大会になることを期待する。

役員改選において萩原会長が勇退され、新会長に窪田 清（電力総連）、事務局長に田中好久（自治労）が選出され、新体制が発足しました。

連合山梨会長 窪田 清（電力総連）

連合山梨事務局長 田中好久（自治労）

【退任役員】（継承略）

会　　長　萩原雄二（電機連合）
執行委員　若月清人（自動車総連）
執行委員　早川貴宏（全水道）

これまでのご尽力に心より感謝申し上げます。

〒400-0858 山梨県甲府市相生2丁目7-17 労農福祉センター内
TEL.055-228-0050 FAX.055-222-1189
URL. http://yamanashi.jtuc-rengo.jp/
E-mail. info@yamanashi.jtuc-rengo.jp
発行人 田中好久

Facebook いいねしてね！
連合本部フェイスブック
連合山梨ホームページ

第33回定期大会 代議員発言及び答弁(要旨)

第1号議案 2022～2023年度運動方針(案)

運輸労連	梅 林 代議員

① 荷待ち時間の削減へ協力

ここ最近の傾向として、お客様先にて長時間にわたるお約束以外の「荷待ち時間」が発生し拘束時間が増え、ドライバーの健康面に影響を及ぼすだけではなく、営業停止や車両運行停止などの行政処分の対象にもなってしまう。また、拘束時間の影響で出発時間が遅れるとネットワークダイヤに間に合わないこととなり、多くの荷物が停留しお客様に迷惑を掛ける結果となる。

連合傘下の労組ならびにそれに関わる企業の皆さまに「**荷待ち時間の削減**」についてお願いする。

② 労働時間短縮について

物流の改善に向けて政府が国民運動として取り組む「ホワイト物流」推進運動は、今年の8月末時点で賛同社数が、全国で1266社となり、昨年から219社増加した。しかし、県内の賛同企業は昨年と変わらず5社のみのままである。

ホワイト物流では、企業が取り組む内容に加え、一人ひとりが出来る取り組みも含まれているため、トラックドライバーの作業時間短縮や、荷待ち時間の削減などの大切さについてご理解を頂ける様に、関係各所に向けた要請への協力をお願いする。

③ トラックの休憩場所の確保について

トラック輸送において、連続運転4時間につき30分の休憩が義務付けられているが、休憩時間が重なる時間帯での駐車スペース確保が困難な状況にあり、緊急の課題となっている。運輸労連としても制度政策要求として要請して行くので、連合山梨としても、トラックドライバーが安心して安全に運行出来るよう、駐車スペース確保に向けた要請への協力をお願いする。

日本の物流の根幹を担うトラック運輸産業の未来を支えるため、運輸労連山梨県連として改革実現に向け、行政・業界に対し強く要請して行く。連合山梨においても更なるお力添えをお願いする。

答 弁	窪 田 事務局長

「荷待ち時間の削減」や「長時間労働」に関して、厚生労働省のガイドラインにも記載されている通り、それぞれの背景として、荷主との関係からトラック運送事業者の自助努力だけで課題解決できない、また、労働時間の短縮が進まないこと、そして、多重的な請負構造から適切な運行管理が難しい等の問題が挙げられている。

荷主にとっては何気ないことが、トラックドライバーの労働時間に大きな影響を与えていることがあり、私たちのほんの少しの認識で労働時間を大きく改善できることでもある。そうした作業改善が物流コストの削減や、サプライチェーン全体の効率化、最適化につながることも期待できるので、連合山梨として荷主の皆さまへの理解活動のお手伝いが出来ればと思っている。

トラック休憩場所については、長時間運転をする中で、休憩場所がないために運転を続けなければならないことは、肉体疲労のみでなく危険運転につながる重大な問題と認識している。連合総体として国交省等への要請行動につなげられるよう連合本部に対し要請していく。

運輸業界(自動車運転者)については、働き方改革関連法が施行されても残業時間上限規制の適応外となっており、全産業の中でも抱える課題が多いと感じている。

今後も、運輸産業に働く組合員の環境改善に向けて取り組みを行っていくので、引き続いての連携をお願いする。

連合山梨第17期役員体制 (2021.11～2023.10)

役職名	氏名	構成組織名
会長	窪田 清	電力総連
会長代行	坪井 茂	情報労連
副会長	白倉 和也	自治労
	三輪 茂樹	電機連合
	佐々木 琢郎	UAゼンセン
	福井 太一	日教組
	杉原 孝一	JAM
	棚本 孝	JP労組
	中田 一秀	電力総連
事務局長	田中 好久	自治労
副事務局長	大森 竜	電機連合
	平山 直樹	日教組
	白倉 範人	情報労連
	(人選継続)	連合山梨
執行委員	松木 友幸	自治労
	小林 賢	電機連合
	植松 久雄	UAゼンセン

役職名	氏名	構成組織名
執行委員	櫻井 澄人	JAM
	黒山 晃輝	JP労組
	野口 良朋	電力総連
	向井 仁志	情報労連
	中澤 孝之	自動車総連
	田草川 厚彦	運輸労連
	(人選継続)	全水道
	宮下 竜三	私鉄総連
	野中 広俊	JR総連
	小林 恵	女性委員会(日教組)
	小林 さつき	女性委員会(JP労組)
	前田 宝	東部地域協議会
	弘瀬 誠	中部地域協議会
	土橋 一光	西部地域協議会
会計監査	岩下 実	運輸労連
	刑部 聡	全労金
	藤原 和也	森林労連

10 2 SAT 青年委員会 クリーンキャンペーン

連合山梨青年委員会は、日頃から慣れ親しみ愛着のある街を、快適で美しく保つため、クリーンキャンペーンと題した清掃活動を行っています。

今年度は、10月2日（土）に青年委員会メンバーをはじめ各構成組織から16名に参加頂き、労農センターから甲府駅までの歩道の清掃活動を実施しました。平和通りの東側と西側の歩道を甲府駅に向かって北上し、甲府駅から県庁東側、甲府市役所東側を通って中央公園内をひと周りした後に、労農センターまで戻ってくるルートで清掃を行いました。

たばこの吸い殻など細かいゴミが多く、空き缶や空き瓶、ペットボトルなどのゴミも散見され、拾い集めたゴミは適切に処分を行いました。

通行人からゴミの処分を頼まれる事も有りましたが、そこはご愛嬌。この清掃活動を見られた方々がゴミのポイ捨てに対して罪悪感を持つなど、環境美化への意識が高まる事を願って、今後も、クリーンキャンペーン活動を継続していきたいと思います。

青年委員会　委員長　竹川 智也

やまなし労福協 10 6 WED 第35回チャリティゴルフ大会を開催

やまなし労福協第35回チャリティーゴルフ大会を10月6日（水）にC･Cグリーンバレイに於いて行いました。当日は清々しい秋晴れのもと、87名のご参加を頂いての開催となりました。集まったチャリティー金は、山梨県社会福祉協会を通じて「山梨ともしび基金」に寄付をさせて頂きます。

山梨県労働者福祉協会 事務局長　清水 澄男

大会結果

優　勝	米山 泰明様（全日通）	〔ベスグロ〕
準優勝	田中 裕臣様（日立Astemo OB）	堀川　保様（日立Astemo OB）
3　位	渡辺 儀訓様（労金友の会）	グロス37（ハーフ）

全日通労組の皆さん
（右から2番目:優勝した米山さん）

連合山梨 ふれあい基金カンパ

愛のカンパ金　募集

連合「愛のカンパ」活動の取り組みと連動して、今年も「連合山梨ふれあい基金カンパ」に取り組みます。各構成組織、地域協議会のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2021年10月中旬～2022年01月28㊎まで
1次集約　2021年 12月 24日 ㊎
2次集約　2022年 1月 28日 ㊎

※連合本部報告が「2022.1.31」であり、この時点の集約結果を2/3の連合山梨第4回執行委員会で報告し公開させていただきます。

目　的　ふれあい基金カンパは、連合運動の社会的貢献をめざし、福祉団体(施設)への寄付および支援と連合山梨に加盟する組合員の相互扶助を目的に実施いたします。

目標金額　組合員1人　100円程度

募集方法　具体的取り組み方法については各構成組織に一任いたします。

集　約　各構成組織での取り組みが終了次第、以下へお振込みをお願いいたします。

振込先
・金融機関　中央労働金庫　甲府支店
・口座番号　普通　1373476
・口座名義　連合山梨
注：備考欄に必ず「ふれあい基金」と記入願います。

事業内容

❶ 福祉施設および福祉団体等への援助活動を行う。
❷ 連合本部等の実施する人権・人道主義に基づく活動に協力する。
❸ 災害等の被災者(被災地)に対する助け合い運動を行う。
❹ 連合山梨加盟組合の組合員および職員が「死亡した場合の弔慰見舞金」と「長期休務または、障がい者三級以上に認定された場合の見舞金」を行う。
❺ その他、連合山梨執行委員会が必要と認めた活動に対し行う。

※詳しくは、組合窓口へお問い合わせ願います。

山梨退職連合 9 28 TUE 屋内研修会

身近にできる地球温暖化対策

9月28日、県立図書館2階多目的ホールにおいて、22名参加のもと、山梨退職者団体連合の屋内研修会を開催しました。近隣の都府県では、新型コロナウイルス感染症の緊急事態措置及びまん延防止等重点措置を実施すべき期間（9月30日まで）であったため、感染防止対策を徹底して開催しました。

今回の研修会は、社会的な役割りを果たすことを目的に、日々の暮らしのなかでの環境問題をテーマとして取り上げ、山梨県環境・エネルギー政策課の長澤主査を講師にお招きし、「身近にできる地球温暖化対策」と題した講演を行って頂きました。

地球温暖化の実態として、①世界や日本の平均気温偏差の推移・日本の猛暑日や熱帯夜の年間日数の変化・熱中症による死亡者数。②人間活動の影響、化石燃料（石油・石炭等）の燃焼や、森林伐採等によるCO_2などの温室効果ガスの増加。③温暖化すると何が困るのか、生態系・海の生物・農業・食料生産・海洋への影響など、データを基にご説明を頂き事実として受け止めることが出来ました。

そして、身近にできる対策として、家庭からのCO_2排出量（冷暖房、自動車、ゴミ等々）をどのように減らすのか、また、「やまなしクールチョイス県民運動」では、エコドライブ、緑のカーテン、買い物時のマイバッグ、環境家計簿の取り組みなど、地球のために今できる賢い選択を実践していくことの必要性を教えて頂きました。

最後に、参加者に向けたエコクイズの出題や質疑応答が行われ、大変、有意義な研修会となりました。

山梨退職者団体連合 事務局長　小沢 政人

第49回衆議院議員選挙・山梨選挙区開票結果

【山梨第1区】	【山梨第2区】
中島　克仁　118,223票 **《比例当選》**	**市来　伴子　44,441票**
中谷　真一　125,325票 《当選》	堀内　詔子　109,036票 《当選》
辺見　信介　4,826票	大久保令子　7,027票
※投票率 59.49%	※投票率 62.31%

これまでの様々な取り組みに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

中島（なかじま） 克仁（かつひと）　　**市来（いちき） 伴子（ともこ）**